

## 【TREL 4G-H】初期設定マニュアル

【更新日】2025年9月25日 【発行】鳥獣被害対策ドットコム（株式会社 地域環境計画）



### 目次

- [はじめに：本マニュアルについて](#)
- [STEP1：アプリパスワードの作成](#)
- [STEP2：設定ツール「TREL CONFIG」のダウンロード](#)
- [STEP3：インターネット接続](#)
- [STEP4：メール送信テスト](#)
- [STEP5：自動撮影の開始](#)
- [【応用】APN情報入力済み「設定ファイル」の活用](#)
- [実運用前のテスト期間について](#)
- [よくある質問](#)
- [お問い合わせ](#)
- [メモ欄](#)

## はじめに：本マニュアルについて

本マニュアルは、TREL 4G-H を Gmail サーバー経由で利用するための初期設定をサポートすることを目的としています。とくに、Google アカウントの設定やアプリパスワード作成といった、初めての方がつまづきやすいポイントについても解説し、スムーズに初期設定を進められるようにしています。

※スマートフォンからの遠隔操作（SMSによるコマンド送信）や専用アプリ（BGTools：iOS / Android 対応）の利用方法など、詳細な機能設定については、商品に付属している「ユーザーマニュアル」をご参照ください。

---

### 本マニュアルの対象者

このマニュアルは、以下の条件に当てはまる方を対象としています。

- TREL 4G-H の通信機能（画像・動画のメール送信、SMS機能など）を利用する方
- メールサーバーに Gmail を設定して利用する方
- 動作確認済みの SIM カードを使用する方
- Google アカウントを準備できる方（既存または新規作成）
- PC（Windows）で専用の設定ツール「TREL CONFIG」を使用できる環境がある方

上記に該当しない場合は、本マニュアルの内容が適さない可能性があります。その場合は、付属の「ユーザーマニュアル」やメーカーサイトのサポート情報をご参照ください。

## 本マニュアルの流れ

このマニュアルでは、TREL4G-Hを **Gmail サーバー経由で利用するために必要な初期設定手順**を、次のステップに沿って解説します。

- **STEP1：アプリパスワードの作成**

Googleアカウントの準備、2段階認証プロセスの有効化、アプリパスワードの生成を行います。

- **STEP2：設定ツール「TREL CONFIG」のダウンロード**

専用の設定ツールをダウンロードし、インターネット設定・カメラ設定・受信者設定を行い、設定ファイルをSDカードに保存します。

- **STEP3：インターネット接続**

カメラにSIMカードとSDカードを挿入し、設定ファイルを読み込み、ネットワークに接続します。

- **STEP4：メール送信テスト**

テスト撮影を行い、撮影した画像をGmailに送信し、正しく届くかを確認します。

- **STEP5：自動撮影の開始**

電源をONにして、自動撮影モードを有効にします。

---

## STEP 1：アプリパスワードの作成

TREL 4G-HをGmailを使った通信カメラとして利用するには、後ほど紹介する専用の設定ツール「**TREL CONFIG**」の「インターネット設定」の項目でGoogleのアカウント名（Gmailアドレス）とパスワード（以下で自動生成されるアプリパスワード）を入力する必要があります。

アプリパスワードを作成（自動生成）するには、その前段階としてGoogleアカウントの「2段階認証プロセス」を有効化する必要があります。

## 1-1. Googleアカウントの準備

TREL 4G-H を Gmail と連携させるには、Google アカウントが必要です。

- すでに Gmail などを使っている自分の Google アカウントをお持ちの方は、そのまま利用できます（新しく作成する必要はありません）。この場合、本手順（1-1. Google アカウントの準備）はスキップし（👉[1-2. 2段階認証プロセスの有効化](#)）へ進んでください。

※ただし、会社や組織から配布されている Google アカウント（Google Workspace アカウント）は、組織管理者によるセキュリティポリシーの制限により、2段階認証プロセスの設定が利用できない場合があります。その場合は、以下手順に従って、新しく個人用アカウントを作成してください。

- Google アカウントを持っていない方は、以下手順に従って、新しく作成してください。



👉[Google アカウントを新しく作成する](#)

(<https://www.google.com/intl/ja/account/about/>)



▲ 任意の姓名を入力して「次へ」



▲ 任意の生年月日と性別を入力し「次へ」



▲ 自動生成されたアドレスを選択、もしくは自分で作成したいアドレスを選択・入力し「次へ」



▲ 任意のパスワードを入力し「次へ」



▲ 再設定用（予備）のメールアドレスが不要な場合は「スキップ」、追加する場合は入力して「次へ」



▲ アカウント名、メールアドレスの内容を確認して「次へ」

すべて使用したりすることがあります。

設定は自分で管理できます

アカウントの設定に応じて、このデータの一部はご利用の Google アカウントに関連付けられることがあります。Google はこのデータを個人情報として取り扱います。Google がこのデータを収集して使用する方法は、下の [その他の設定] で管理できます。設定の変更や同意の取り消しは、アカウント情報 (myaccount.google.com) でいつでも行えます。

[その他の設定](#) ▼

[キャンセル](#) [同意する](#)

▲ プライバシーと利用規約を確認して「同意する」



ようこそ、カメラテスト さん

Google サービスを便利にご利用いただけるよう、情報、プライバシー、セキュリティを管理できます。 [詳細](#) ①

▲ 画面が切り替わったら作成完了

## 1-2. 2段階認証プロセスの有効化

アカウントを取得した後の2段階認証プロセスの有効化方法について、以下手順は、**2025年8月現在の情報**です。Googleの案内ページやレイアウトは頻繁に変更、更新されることがあるため、最新の情報については、自身でご確認くださいませよう願いたします。

※既に2段階認証を有効にしている方は、この作業は不要です。**この場合、本手順（1-2. 2段階認証プロセスの有効化）はスキップし（👉[1-3. アプリパスワードの作成](#)）へ進んでください。**

### 2段階認証プロセスを有効にする

2段階認証プロセス（2要素認証とも呼ばれます）は、パスワードが盗まれた場合に備えてアカウントのセキュリティを強化する機能です。

2段階認証プロセスを設定すると、アカウントへのログインは、次のものを使って行うことになります。

- パスワードと2つ目の手順
- パスキー

ログイン時にさまざまな認証による確認が必要になる場合があります。ユーザーが簡単にログインでき、アカウントの不正使用を防ぐために最適と思われる認証方法が使用されます。

#### ヒント:

- デフォルトでは、パスキーを作成すると、パスキー優先の（パスワードを使わない）ログイン方法にオプトインします。
- パスワードを常に先に使用する場合は、[アカウント設定でこのデフォルト設定を変更](#)できます。

### 2段階認証プロセスを有効にする

1. [Google アカウント](#) を開きます。
2. **[セキュリティとログイン]** をタップします。
3. **[Google にログインする方法]** で **[2段階認証プロセスを有効にする]** を選択します。
4. 画面上の指示に沿って手順を完了します。

**ヒント:** 職場、学校、その他のグループのアカウントを利用している場合は、この手順で2段階認証プロセスを設定できないことがあります。設定できない場合は、[管理者にお問い合わせ](#)ください。

[2段階認証プロセスを有効にする](#)

👉 [Googleアカウントヘルプ：2段階認証プロセスを有効にする](#)

(<https://support.google.com/accounts/answer/185839?sjid=17929255897608043354-NC>)



▲ アカウントにログインした状態で、左メニューの「セキュリティ」を選択



## ← 2段階認証プロセス



### アカウントへの2つ目の手順の追加

2段階認証プロセスを有効にするには、まず Google アカウントに電話番号などの2つ目の手順を追加する必要があります

電話番号を追加

### 2段階認証プロセスを有効にする

セキュリティを強化し、ハッカーがアカウントにアクセスするのを防ぐことができます。

ログインにパスワードを使用する場合を除き、アカウントで利用できる最も安全な2つ目の手順を完了するよう求められます。2つ目の手順とログイン方法は、設定でいつでも変更できます。[セキュリティ設定]に移動



2段階認証プロセスを有効にする

- ▲ 「電話番号を追加」、または「2段階認証プロセスを有効にする」を選択 (どちらでも可)

### 電話番号を追加

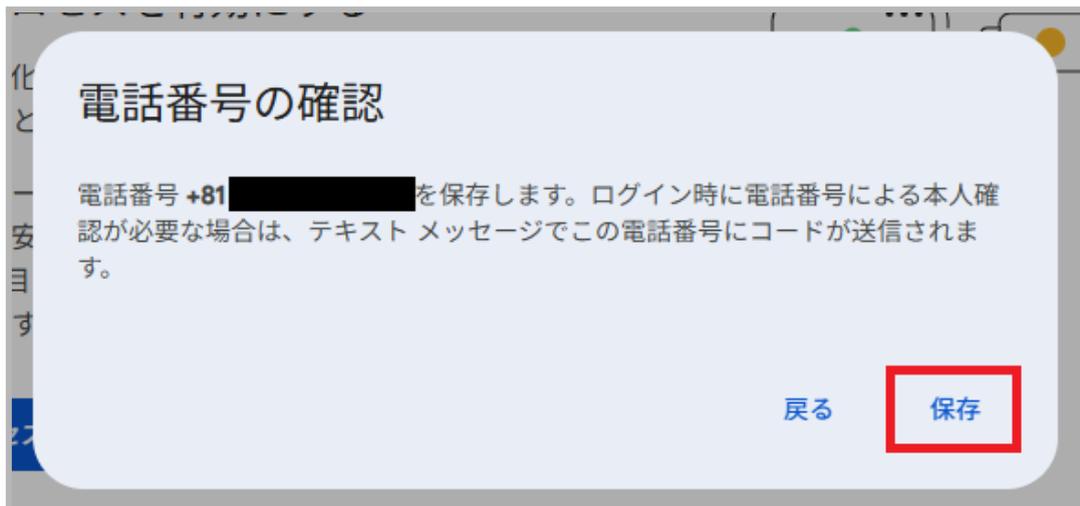
電話番号は、ログイン時の本人確認や、通常とは異なるアクティビティが検出された場合の通知にも使用されます。

 +81

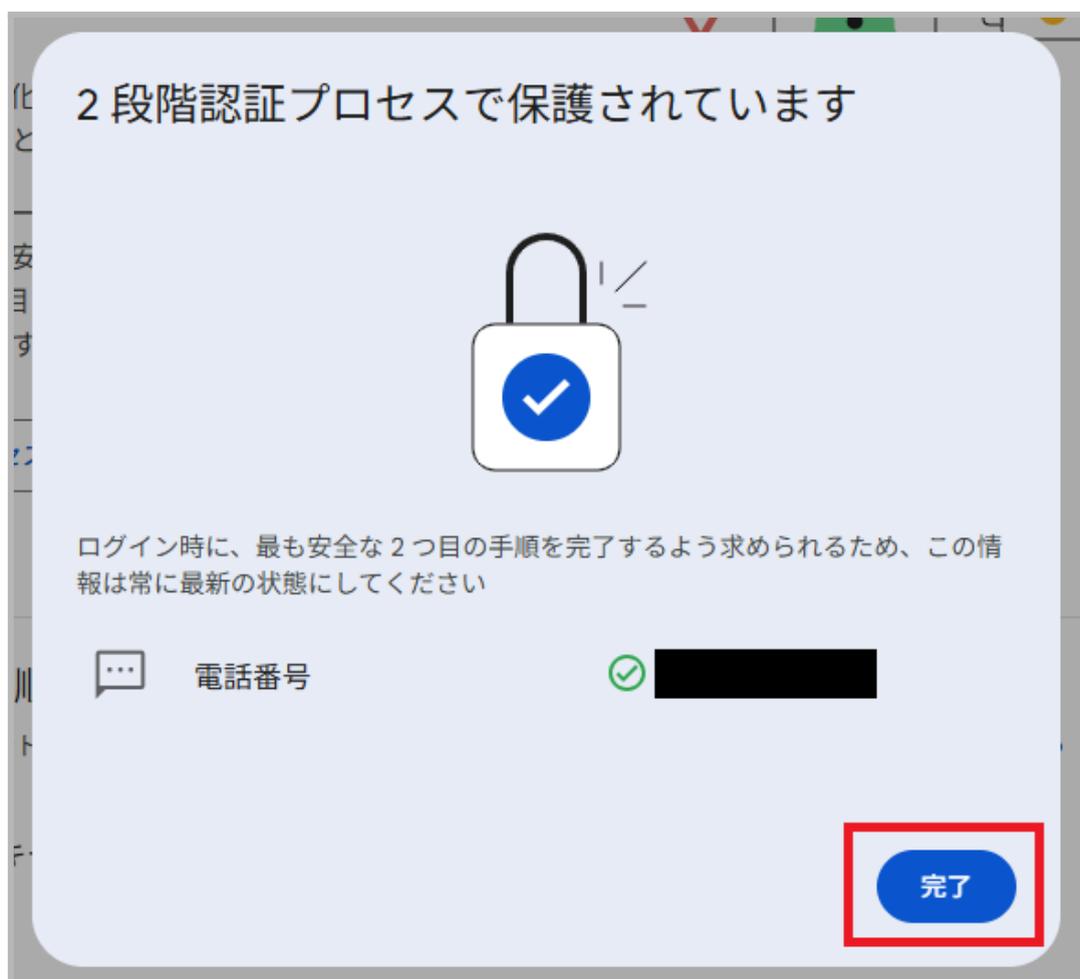
Google Voice 番号を使用できませんが、Google アカウントにアクセスできなくなった場合、コードを受け取ることはできません。携帯電話会社の通信料がかかる場合があります。この情報を Google がどう利用するかについて

キャンセル **次へ**

- ▲ 国を選択後電話番号を入力して「次へ」



▲ 入力した電話番号を確認して「保存」



▲ 再度内容を確認して「完了」

## ← 2段階認証プロセス

アカウントは2段階認証プロセスで保護されています

セキュリティを強化し、ハッカーがアカウントにアクセスするのを防ぐことができます。

ログインにパスキーを使用する場合を除き、アカウントで利用できる最も安全な2つ目の手順を完了するように求められます。2つ目の手順とログイン方法は、設定でいつでも変更できます。[セキュリティ設定]に移動



[2段階認証プロセスを無効にする](#)

### ▲ 設定完了後の画面

## 1-3. アプリパスワードの作成

アプリパスワードの生成方法は、**2025年8月現在**、Googleアカウントヘルプの「アプリパスワードでログインする」のページにある「アプリパスワードを作成、管理する」というリンク先の案内に従って作成（自動生成）して下さい（図1）。

### アプリ パスワードでログインする

**重要:** アプリ パスワードは推奨されておらず、ほとんどの場合は不要です。アカウントの安全性を保つには、「Google でログイン」機能を使用してアプリを Google アカウントに接続してください。

アプリ パスワードとは、安全性の低いアプリやデバイスに Google アカウントへのアクセスを許可する 16 桁のパスコードです。アプリ パスワードは **2 段階認証プロセス** を有効にしているアカウントでのみ使用できます。

#### アプリ パスワードを使用する場面

**ヒント:** iOS 11 以降を搭載した iPhone や iPad では、アプリ パスワードは不要です。代わりに「Google でログイン」機能を使用してください。

アプリで「Google でログイン」機能を使用できない場合は、次のいずれかをお試しください。

- アプリ パスワードを使用する
- より安全なアプリやデバイスに切り替える

#### アプリ パスワードを作成、使用する

**重要:** アプリ パスワードを作成するには、Google アカウントの 2 段階認証プロセスが必要です。

2 段階認証プロセスを使用していて、ログインしようとすると「パスワードが間違っています」というエラーが表示される場合は、アプリ パスワードを試してみてください。

**アプリ パスワードを作成、管理する** 。Google アカウントへのログインを求められることがあります。

2 段階認証プロセスを設定したが、アプリ パスワードを追加するオプションが表示されない場合は、以下の原因が考えられます。

- Google アカウントの 2 段階認証プロセスが**セキュリティ キー**に対してのみ設定されている。

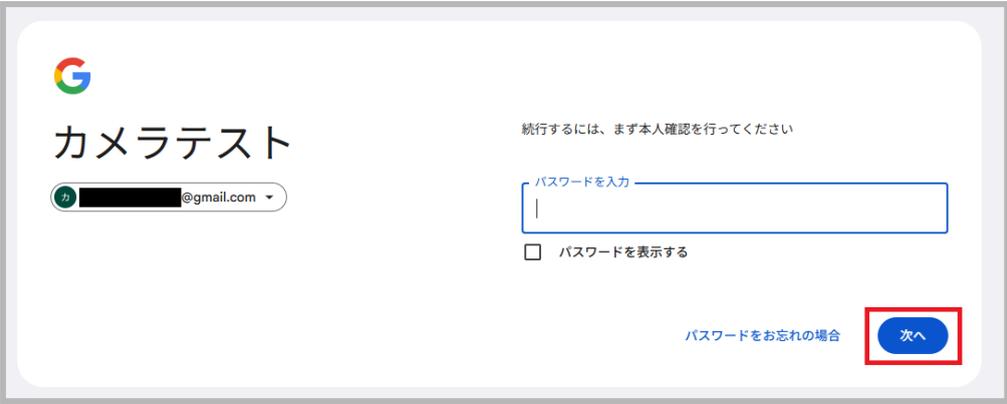
▲ 図1 「アプリパスワードでログインする」の画面

 [Googleアカウントヘルプ：アプリパスワードでログインする](https://support.google.com/accounts/answer/185833?hl=ja)

(<https://support.google.com/accounts/answer/185833?hl=ja>)

👉 [Googleアカウント：アプリパスワードを作成、管理する](https://myaccount.google.com/apppasswords)

(<https://myaccount.google.com/apppasswords>)



カメラテスト

続行するには、まず本人確認を行ってください

パスワードを入力

パスワードを表示する

パスワードをお忘れの場合 **次へ**

▲ 作成したアカウントのパスワードを入力して「次へ」



← アプリパスワード

アプリパスワードは、最新のセキュリティ標準に対応していない古いアプリやサービスで Google アカウントにログインするための手段です。

アプリパスワードは、最新のセキュリティ標準を使用する最新のアプリやサービスを使用している場合よりも安全性が低くなります。アプリパスワードを作成する前に、ログインするためにアプリにアプリパスワードが必要かどうかをご確認ください。

[詳細](#)

アプリパスワードがありません。

アプリ固有のパスワードを新規作成するには、下にアプリ名を入力してください...

アプリ名  
TREL4G

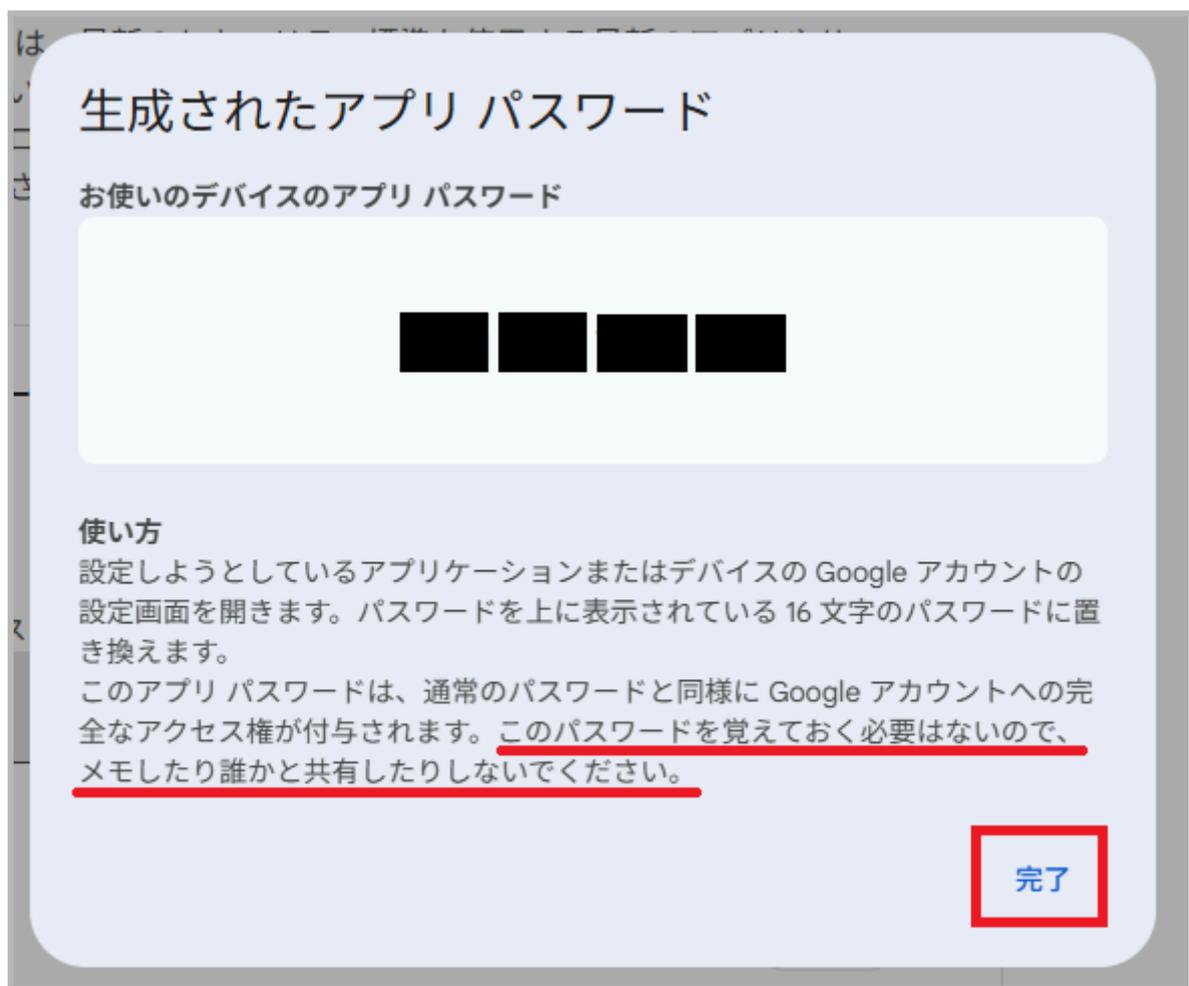
**作成**

▲ 任意のアプリ名を入力して「作成」

## 1-4. 作成されたアプリパスワード（例）

アプリパスワードの作成（自動生成）に成功すると、以下のような画面が表示されます。16桁の文字が4桁ずつ「空白（スペース）」を挟んで表示されますが、「空白」は視認性に配慮したものであるため、以降で説明する通信カメラの設定の際に、アプリパスワードを設定する際は空白は無視して入力してください。

※アプリパスワード生成画面（図2）には、「このパスワードを覚えておく必要はないので、メモしたり誰かと共有したりしないでください。」と表示されますが、設定ツールの設定時に使用しますのでメモ帳などに必ず控えておいてください。



▲ 図2 自動生成されたアプリパスワードをメモして「完了」

## ← アプリ パスワード

アプリパスワードは、最新のセキュリティ標準に対応していない古いアプリやサービスで Google アカウントにログインするための手段です。

アプリパスワードは、最新のセキュリティ標準を使用する最新のアプリやサービスを使用している場合よりも安全性が低くなります。アプリパスワードを作成する前に、ログインするためにアプリにアプリパスワードが必要かどうかをご確認ください。

[詳細](#)

### アプリパスワード

TREL4G	作成日: 15:03	
--------	------------	---

アプリ固有のパスワードを新規作成するには、下にアプリ名を入力してください...

▲ アプリパスワード作成完了後の画面

※以降、アプリパスワードの管理（削除・追加）を行う場合は、Googleアカウント > セキュリティ > 2段階認証プロセス > アプリパスワードから確認できます。ただし、すでに作成済みのアプリパスワードの16桁の文字列を確認することはできません。

← 2段階認証プロセス

### 2つ目の手順

Google アカウントにアクセスできるよう、以下の情報を最新の状態に保ち、ログイン方法を追加しましょう

	パスキーとセキュリティ キー	 セキュリティ キーの追加	>
	Google からのメッセージ		>
	認証システム	 認証システム アプリを追加してください	>
	電話番号	 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>	>
	バックアップコード	 バックアップコードを入手しましょう	>

### アプリ パスワード

アプリ パスワードは推奨されておらず、ほとんどの場合は不要です。アカウントを安全に保つため、[Google でログイン] を使用してアプリを Google アカウントに接続してください。

アプリ パスワード	1個のアプリ パスワード	>
-----------	--------------	---

▲ アプリパスワードの確認画面へ

## STEP 2：設定ツール「TREL CONFIG」のダウンロード

「TREL CONFIG」はTREL 4G-Hの通信機能をPC（Windows）で行うための専用ツールです。設定が終わると、「GSM」という名称のフォルダに入った「設定ファイル（拡張子.BIN）」が生成され、外部に保存することができます。

通常の手順としては、この「設定ファイル」をSDカードに保存し、そのSDカードをTREL 4G-Hに挿入し、電源スイッチを「SETUP」の位置にスライドすることで、その設定内容がカメラに読み込まれます。

### 2-1. 「TREL CONFIG」のダウンロード

「GISHOP」のTREL 4G-Hの「クイックスタートガイド」のページから設定ツール「TREL CONFIG」をダウンロードして下さい。ダウンロード時にはパスワードの入力を求められますので、商品購入時に付属している「ユーザーマニュアル」に掲載されているパスワードを入力して下さい。



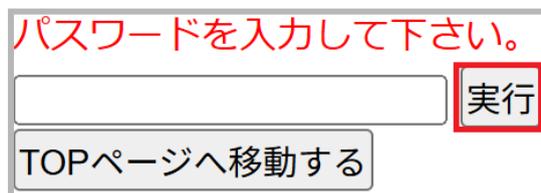
The screenshot shows the GISHOP website interface. At the top, there is a navigation bar with links for Home, Contact, and Site Map. Below this is a search bar and a login section. The main content area features a large green banner with the text 'クイックスタートガイド 本体の設定' (Quick Start Guide Body Settings). Below the banner, there is a section titled '設定ツール「TREL CONFIG」' (Setting Tool 'TREL CONFIG') with a download button. The button text reads '4G-H / 4G-HM セッシャ用設定ツール「TREL CONFIG」ダウンロード' (Download Setting Tool for 4G-H / 4G-HM Setup). Below the button, it specifies '「TREL CONFIG」ZIPファイル [3.93MB] 2019/10/04更新' (ZIP file [3.93MB] updated 2019/10/04). The left sidebar contains various product categories like '野生動物調査機器' (Wildlife Investigation Equipment) and '自動撮影カメラ' (Automatic Shooting Camera).

▲ バナーをクリック

[GIShop : TREL\(トレル\)4G-H、TREL\(トレル\)4G-HM セッシャ クイックスタートガイド](#)

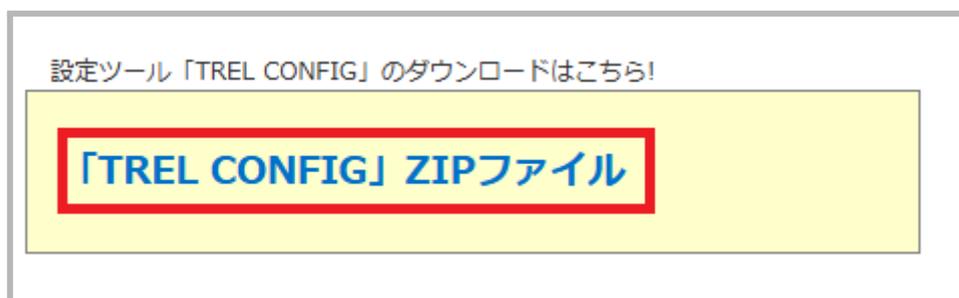
[「本体の設定」](#)

(<https://www.gishop.jp/html/page66.html>)



▲ パスワードを入力して「実行」

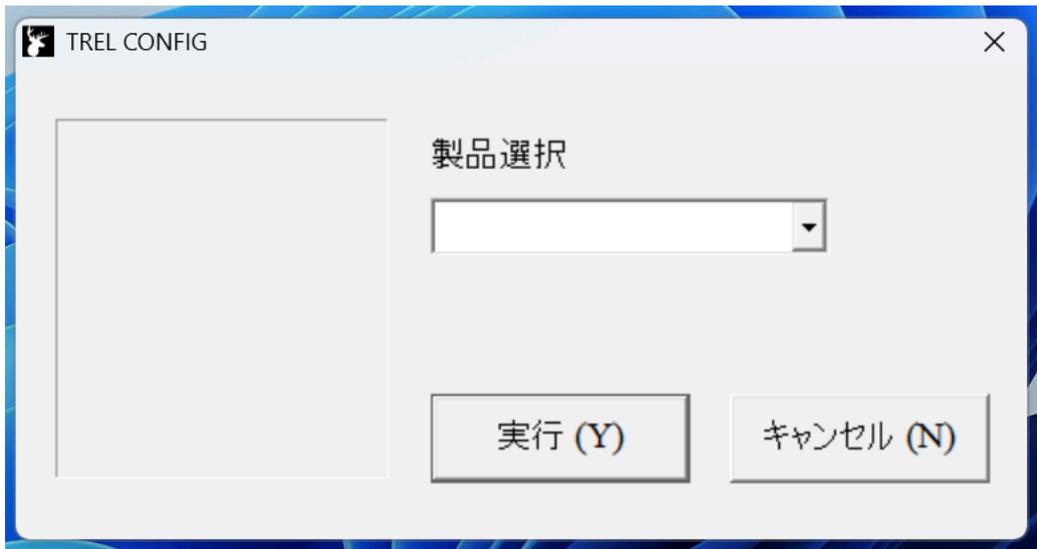
※ 「ユーザーマニュアル Ver.1.3」の場合、パスワードはP.11に記載されています。



▲ 遷移後のページのダウンロードリンクから「TREL CONFIG」ZIPファイルをダウンロード

## 2-2. 「TREL CONFIG」を使った設定ファイルの作成

ダウンロードしたZIPファイルを任意の場所に展開します。続いて「TREL CONFIG.exe」をダブルクリックすると製品選択画面が表示される（※以下補足を参照）ので、ここでTREL 4G-Hを選択し、実行ボタンをクリックします（図3）。



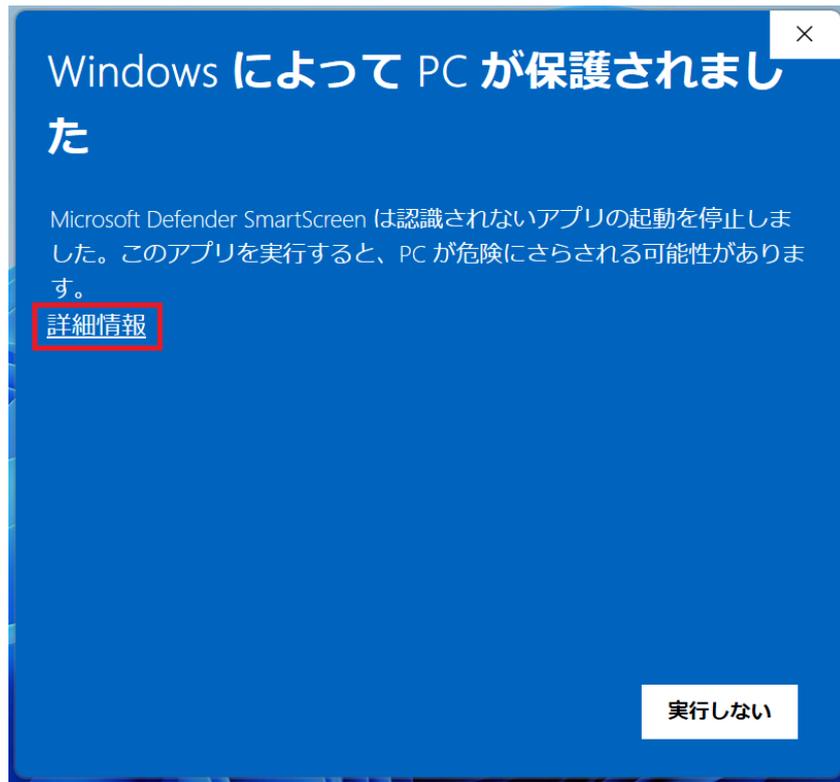
▲ 図3 製品選択画面

### **【補足】製品選択画面が表示されない場合**

「TREL CONFIG.exe」を実行した際に製品選択画面が表示されず、「WindowsによってPCが保護されました」という警告画面が出る場合があります。

これはWindowsのセキュリティ機能（SmartScreen）が、インターネットから取得した実行ファイルを初めて起動するときなどに表示する安全確認のためのメッセージです。製品自体に問題があるわけではありませんので安心して操作を進めてください。

この場合は以下の手順で実行してください。

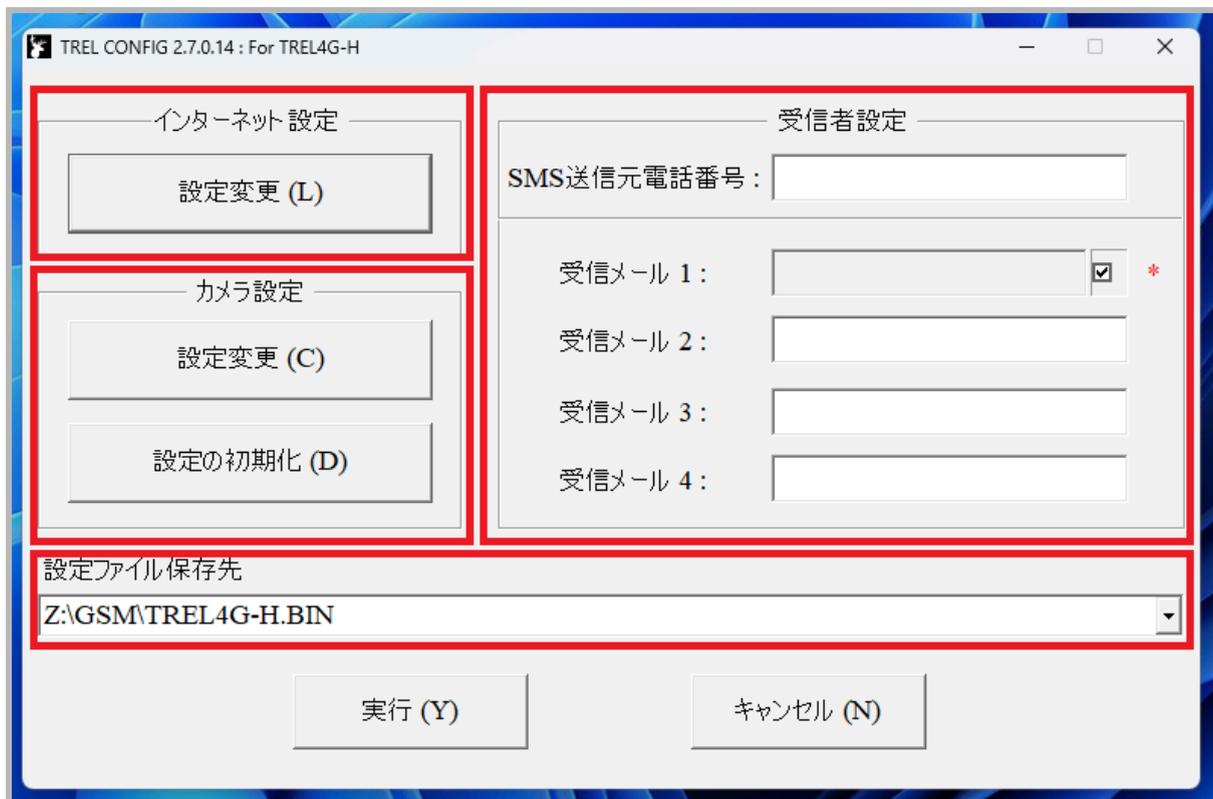


▲ 警告画面で「詳細情報」をクリック



▲ 「実行」 ボタンを選択すると、製品選択画面（図3）が表示される

製品選択のプルダウンからTREL 4G-Hを選択し「実行」するとメイン画面が表示されます（図4）。



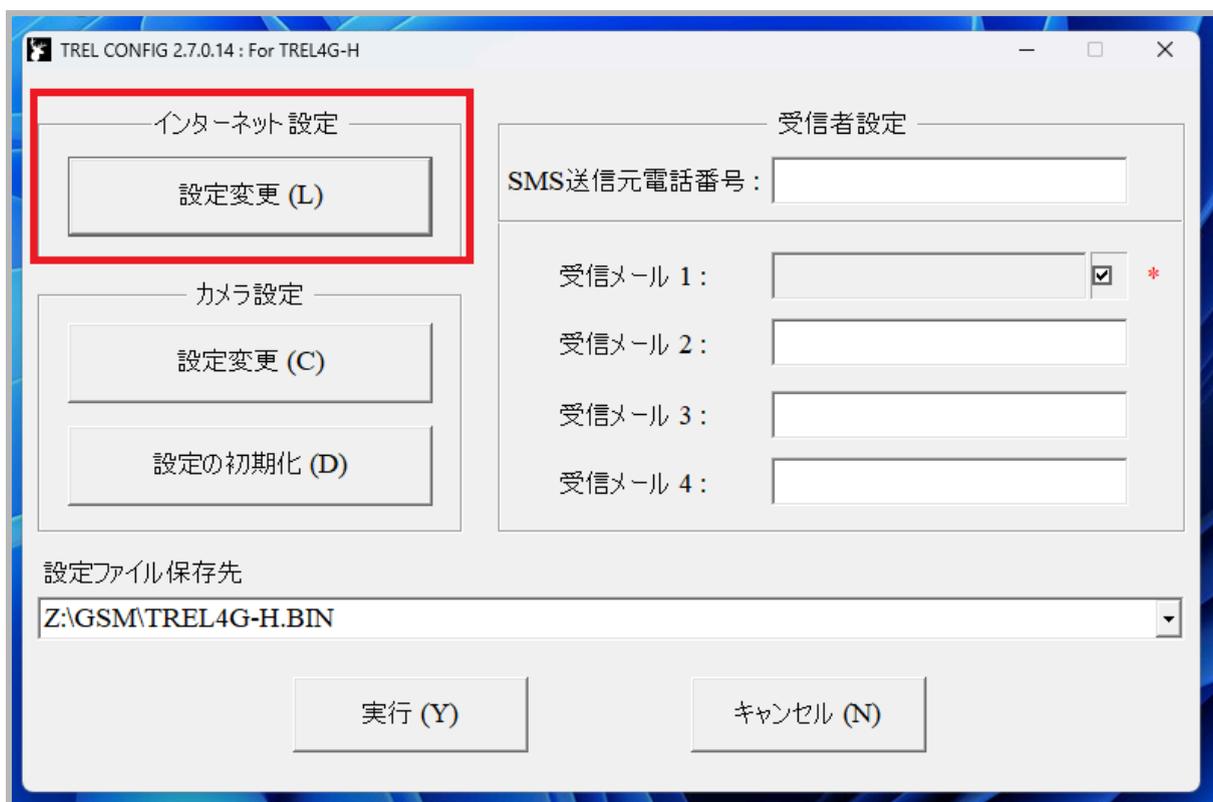
▲ 図4 メイン画面

メイン画面は上図のように、4つのセクションに分かれています。

1. インターネット設定
2. カメラ設定
3. 受信者設定
4. 設定ファイル保存先

それぞれのセクションごとの設定方法について解説していきます。

① **インターネット設定**：経由するメールサーバーの設定内容と挿入するSIMカードの情報を記入します（図5）。



▲ 図5 インターネット設定 / 設定変更画面



▲ 「アカウント名」にGoogleアカウント（Gmailアドレス）を入力



▲ パスワードは「アプリパスワード」のことを指し、  
STEP.1 で作成した16桁の文字列を空白（スペース）なしで入力

※ここでは、入力した文字列が「\*（アスタリスク）」で表示されるため、何が入力されているのか確認できません。そのため、16桁の文字列の前後や間にスペースが含まれている場合は、先にスペースを削除してからコピーアンドペーストすることをおすすめします。また、入力後に、アスタリスクの数が16個になっているかも確認することをおすすめします。



▲ Gmailを使う場合は「メールサーバー」と「ポート」は自動で入力される

続いて、APN（Access Point Nameの略）で接続先の設定をします。使用するSIMの種類によって異なります。弊社で推奨している株式会社ソラコム（SORACOM）のSIMカードを使用する場合は、以下のページに設定内容が記載されているので参考にしてください。

👉 [SORACOM Users スタートガイド：基本編: IoT SIM で通信を開始する](https://users.soracom.io/ja-jp/guides/getting-started/setup/)

(<https://users.soracom.io/ja-jp/guides/getting-started/setup/>)

具体的として、「SORACOM Air for セルラー plan-D」、「SORACOM Air for セルラー plan-K」を使用する場合は以下の通りとなります。

- APN : soracom.io
- ユーザー名 : sora
- パスワード : sora



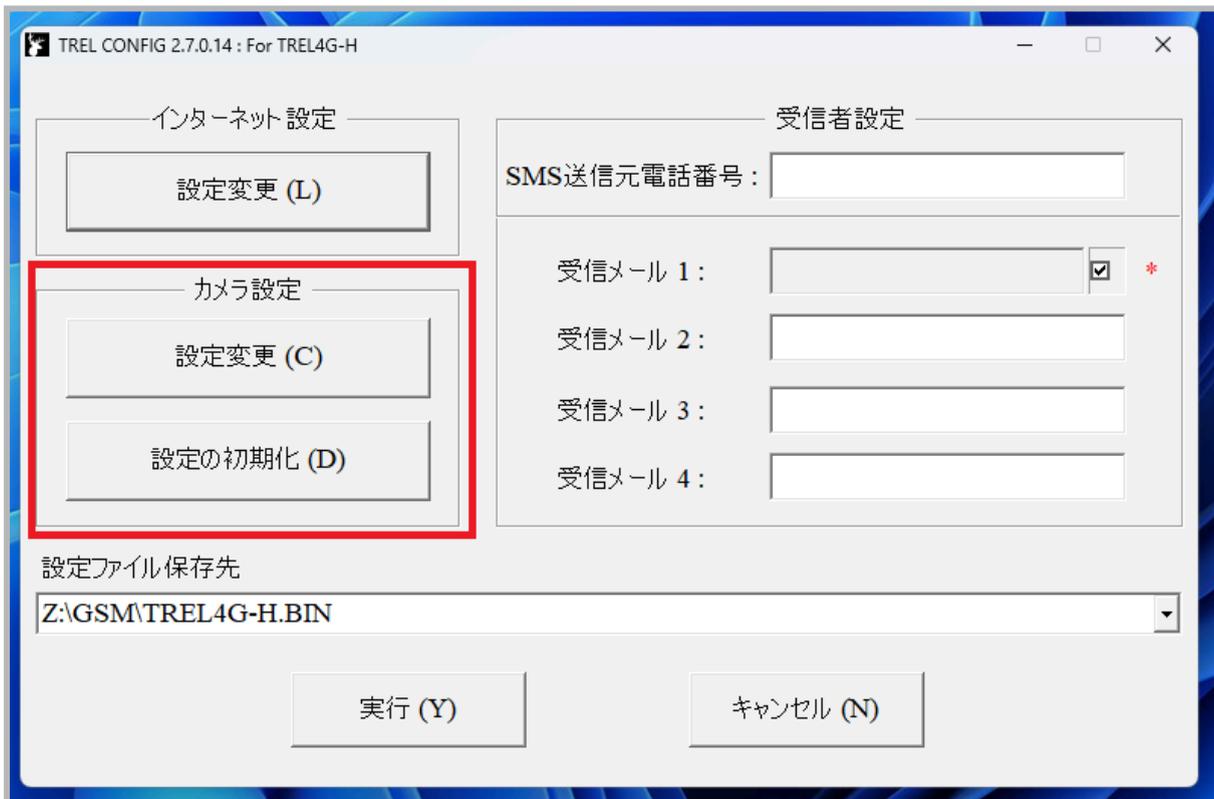
「詳細設定」ボタンは「暗号化を有効にする」設定ですが、Gmailを使う場合は自動で有効に設定されるため、設定の必要はありません（編集できません）。

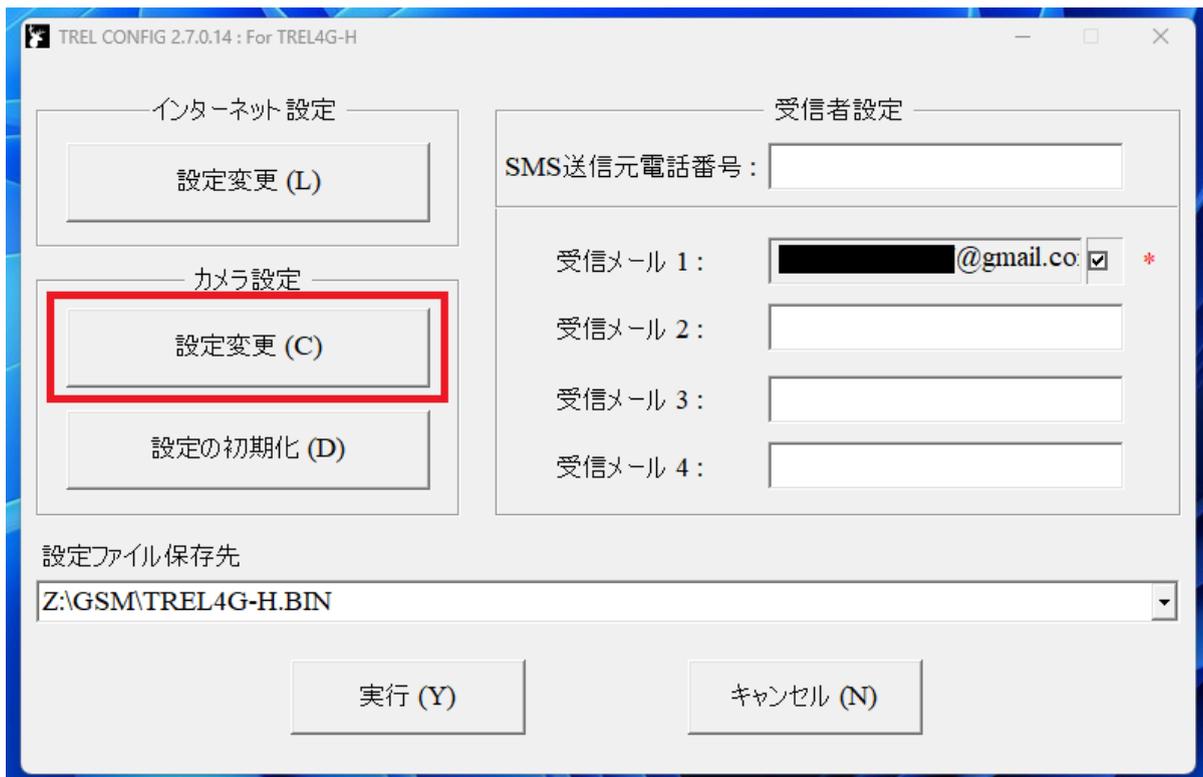




▲ すべて入力が完了したら「実行」>「OK」で確定

② **カメラ設定**：「設定変更」ボタンから自動撮影カメラの一般的な設定（撮影モード、センサー感度、解像度など）ができます（図6）。

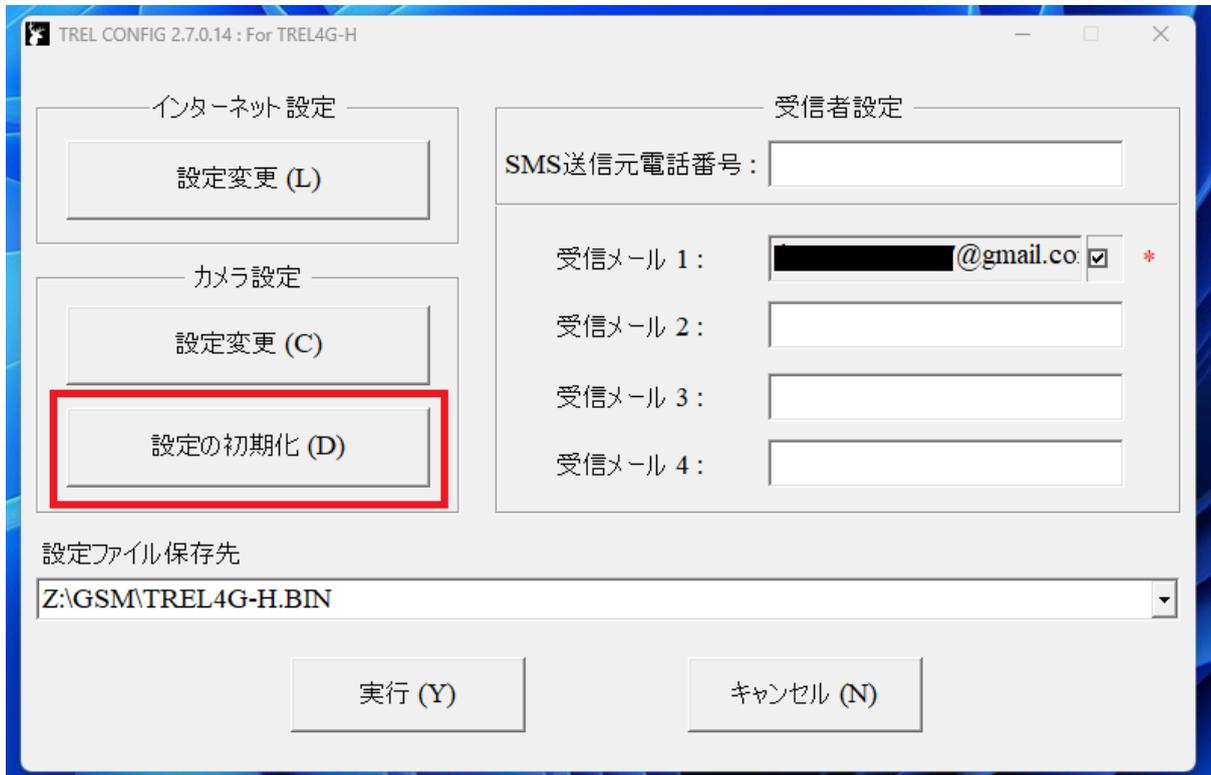




▲ 図6 カメラ設定 / 設定変更画面

※ただし、カメラ本体の「MENU」ボタンからも同様の設定ができるので、必ずしもこの画面で細かく設定する必要はありません。

「設定の初期化」ボタンを押すと、推奨される一般的な設定（撮影モード：静止画、センサー感度：中、SDカード上書き：オフなど）が初期値として設定されます。



▲ 設定を初期化する場合

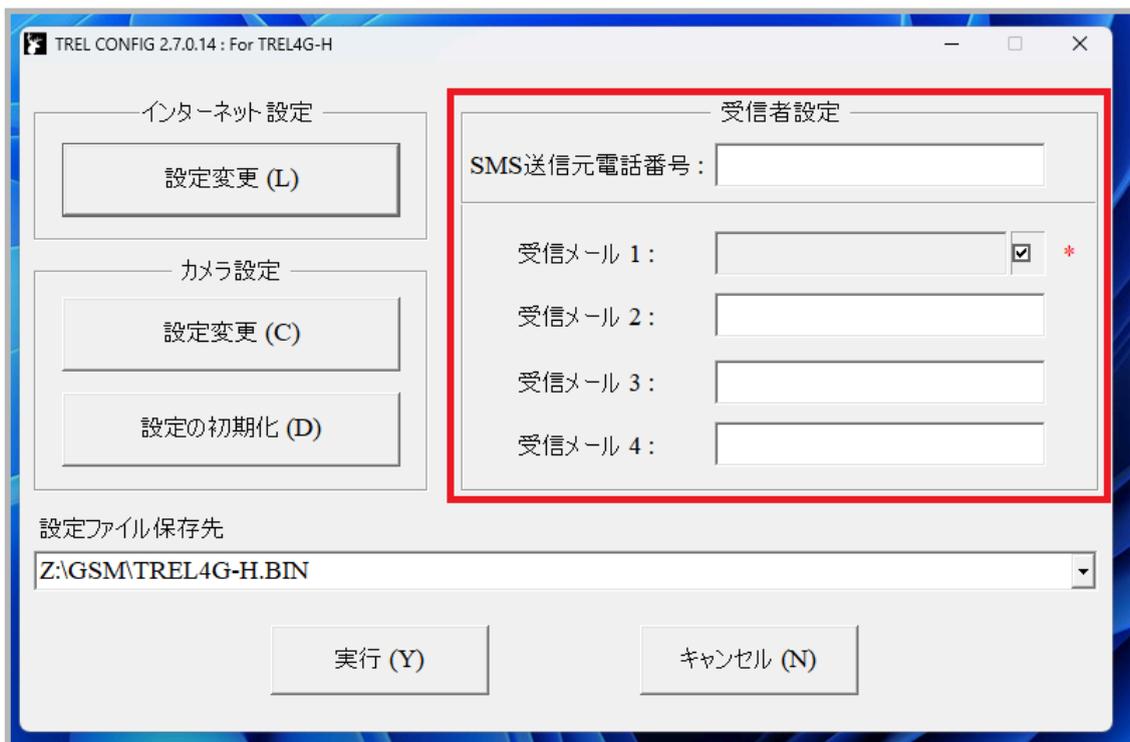
**【注意事項】カメラ設定の変更について**

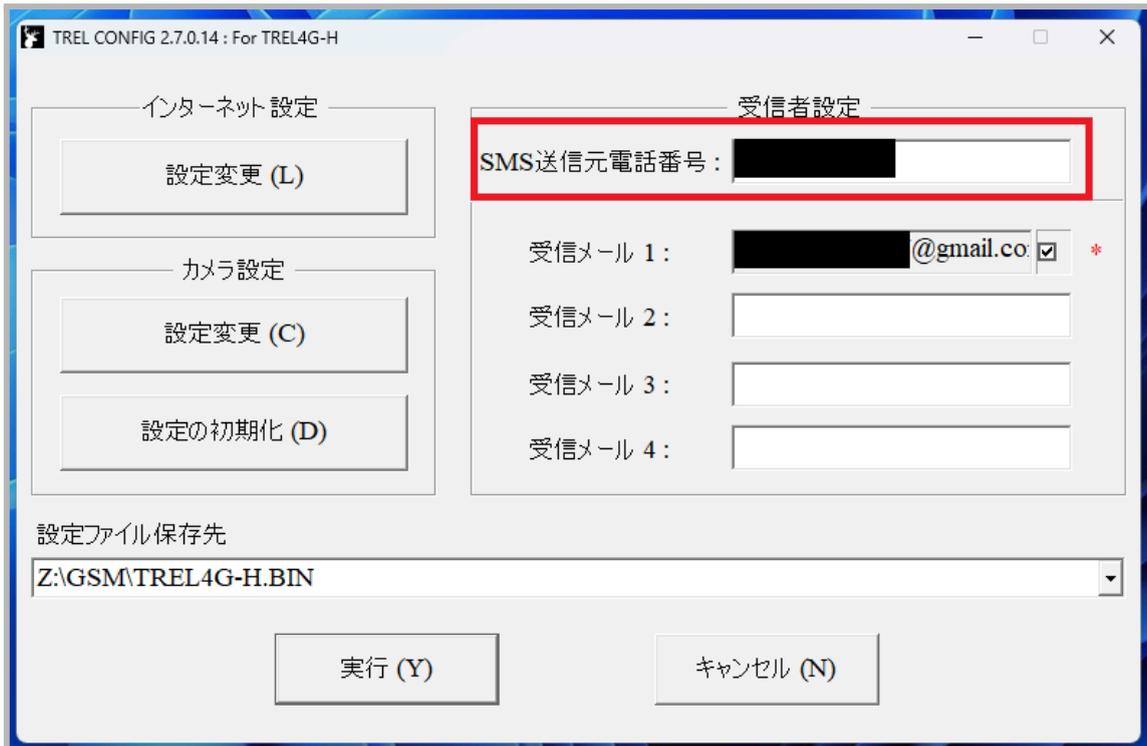
カメラ本体に既にオリジナルのカメラ設定をしている場合、SDカードに保存した「設定ファイル（拡張子.BIN）」をTREL 4G-Hに読み込むと、既存のオリジナル設定は上書きされてしまいます。そのため、設定ツール「TREL CONFIG」の扱いに慣れるまでは、カメラの設定はカメラ本体の「MENU」ボタンで変更することをおすすめします。



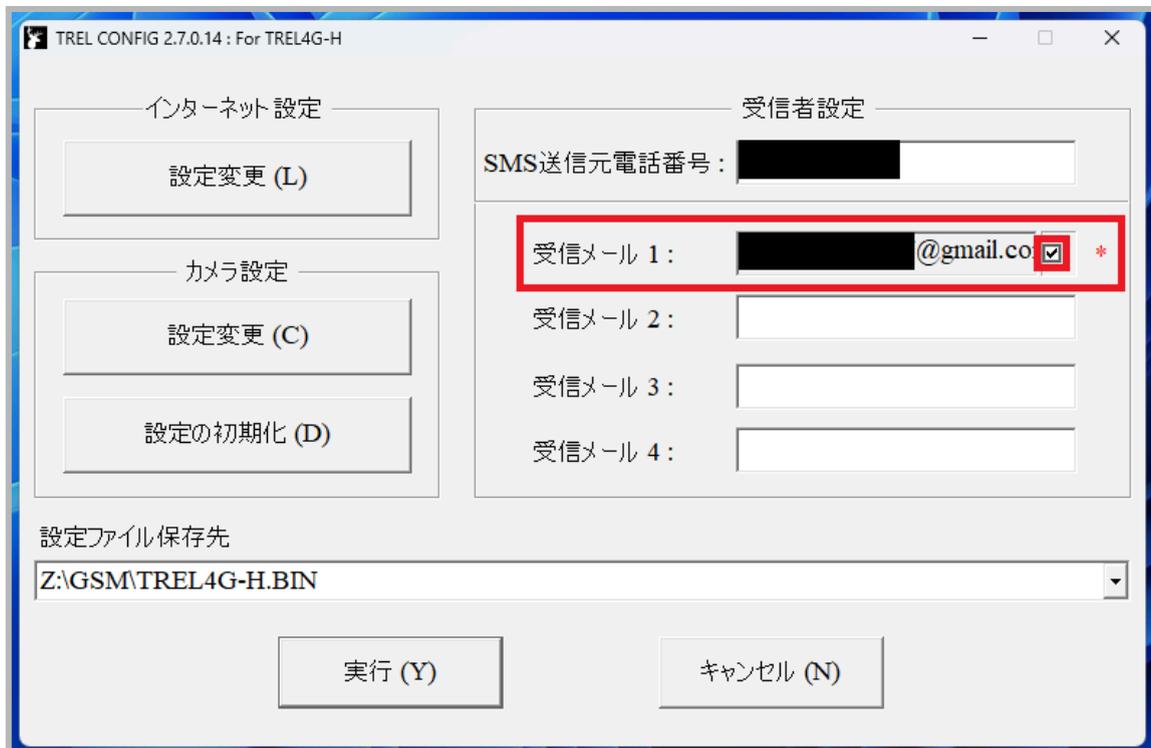
▲ すべて入力が完了したら「実行」>「OK」>「OK」で確定

③ 受信者設定：「SMS送信元電話番号」は遠隔操作する場合に記入が必要です。詳しくは商品購入時に付属している「ユーザーマニュアル」をご参照下さい。





▲ 遠隔操作をする場合は、「SMS送信元電話番号」に電話番号を入力する

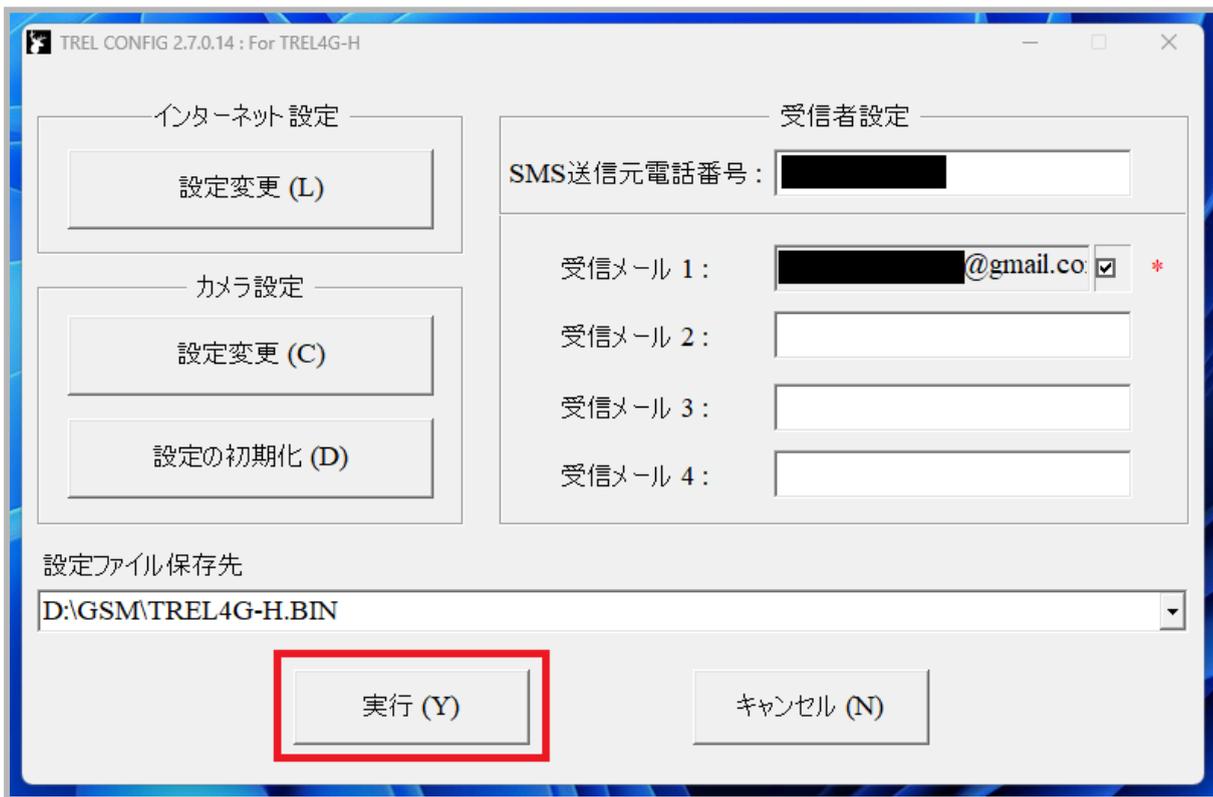


「受信メール1」は右のチェックボックスを入れると、①インターネット設定で設定しているGoogleアカウント（Gmailアドレス：■■■■■@gmail.com）が自動で入力されます。

「受信メール1」を別のメールアドレスに変更したい場合は、チェックを外すことで自由に変更できるようになります。受信用のメールアドレスは「受信メール2」～「受信メール4」を含め、全部で4つまで指定できます。

### **【重要】設定メニュー保存時のポイント**

新たに設定した情報は、下図「メイン画面」の「実行」ボタンを押さない限り保存されません。各メニュー画面の中にも「実行」ボタンがありますが、それらは一時的にツールに情報を記憶させるためのボタンです。「設定ファイル（拡張子.BIN）」に情報を反映させたい場合は、必ず、「メイン画面」の「実行」ボタンを押して保存するようにして下さい。



▲ 設定を保存する場合はメイン画面で「実行」 > 「OK」 > 「OK」で保存

④ **設定ファイルの保存先**：「設定ファイル」は以下手順に従ってSDカードに保存し、TREL 4G-H に読み込んで設定を反映させます。このため、SDカードを差し込んだPCのドライブ名を間違えないように指定して下さい。

※SDカードのドライブ名は、PCの環境によって異なります。

例：「リムーバブルディスク (D:)」「USBドライブ (E:)」「SanDisk (F:)」など。  
必ず、割り当てられたドライブ名（アルファベット部分）を選択してください。

### 【SDカードの準備について】

- **フォーマットとは？**

フォーマットとは、SDカードの中身をすべて消去し、機器で正しく使えるように初期化する操作です。TREL 4G-Hでは最大32GB（SDHC）までのカードに対応しており、FAT32形式でフォーマットされたSDカードが必要です。

※市販の32GB以下のカードは、出荷時点でFAT32にフォーマットされていることが多く、そのまま使用できる場合もあります。ただし、他の機器で使用していた場合や動作が安定しない場合は、PCで改めてFAT32形式にフォーマットしてからご利用ください。

- **はじめて使用するSDカードの場合**

新品のSDカードであっても、確実に安定して使うためには、PCで一度FAT32形式にフォーマットしてから使用することを推奨します。特に他の機器で使用していたカードは、必ずフォーマットを行ってからご利用ください。

- **データを回収した後の扱い**

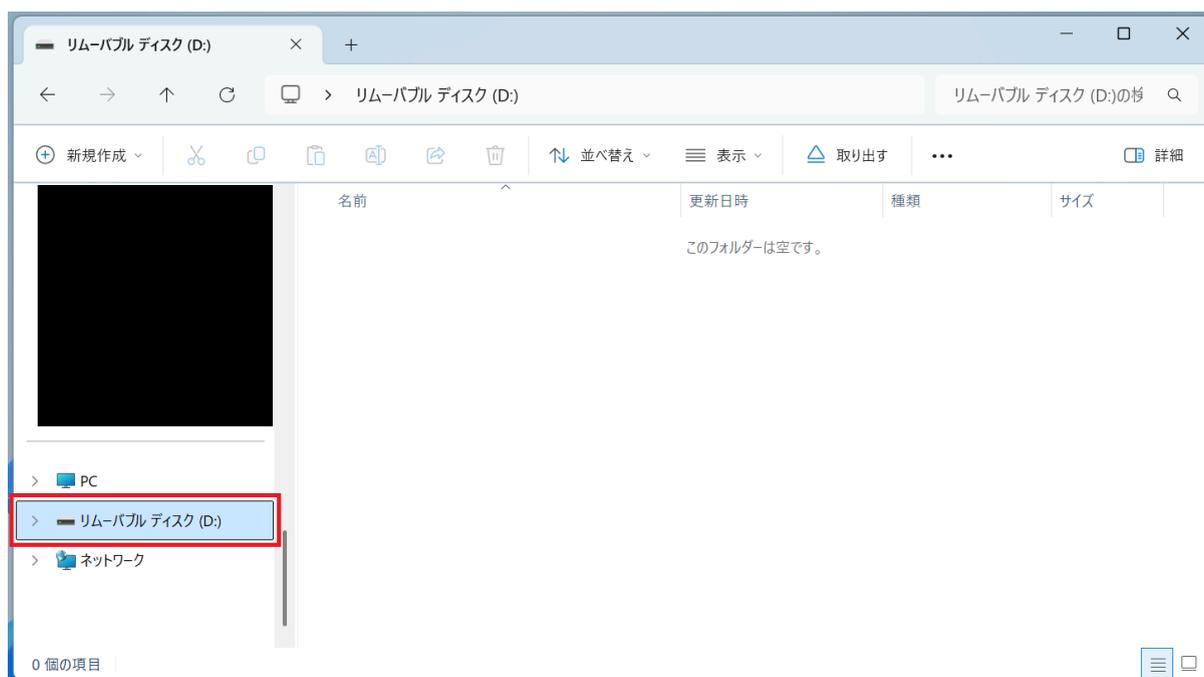
カメラで撮影した静止画・動画をPCに移行したら、再びSDカードをフォーマットしてからカメラに戻すことを推奨します。これにより、不要なデータが残らず、トラブルを防げます。

※フォーマットを行うとSDカード内の撮影データの他、設定ファイル（GSMフォルダや.BINファイル）も消去されます。ただし、一度カメラに読み込まれた設定は本体に保持されます。そのため、設定が初期化されることはありません。設定を変更したい場合のみ、新しい設定ファイルをPCで作成し、SDカードに保存してからカメラに挿入してください。

## 【フォーマット手順】

1. PCにSDカードを差し込みます。
2. Windowsの画面下にある黄色いフォルダのアイコン（エクスプローラー）をクリックし、フォルダの一覧を表示します。

※もしタスクバーにアイコンがない場合は、スタートメニューから「エクスプローラー」を選ぶか、キーボードで [Windowsキー] + [E] を押して開いてください。



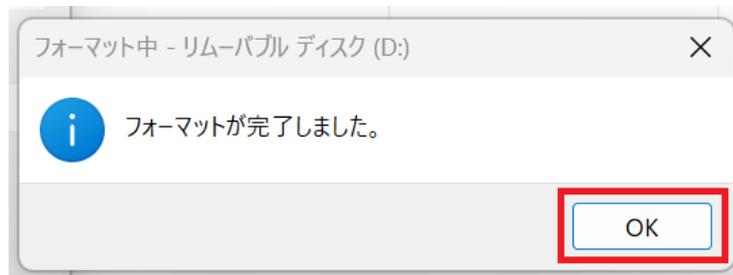
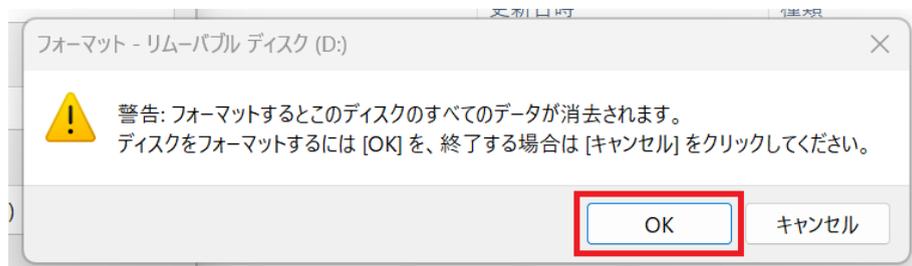
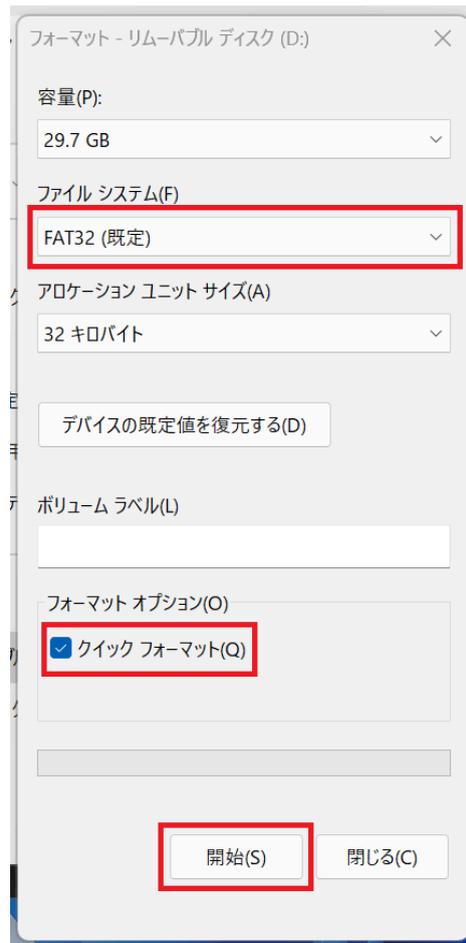
3. 差し込んだSDカードのドライブ（例：「リムーバブルディスク (D:)」など）を右クリックし、「フォーマット」を選択します。

※どのドライブがSDカードか分からない場合は、SDカードを抜き差しして表示されるドライブを確認してください。



4. 「ファイルシステム」で FAT32 を選びます。
5. 「クイックフォーマット」にチェックを入れ、「開始」をクリックします。

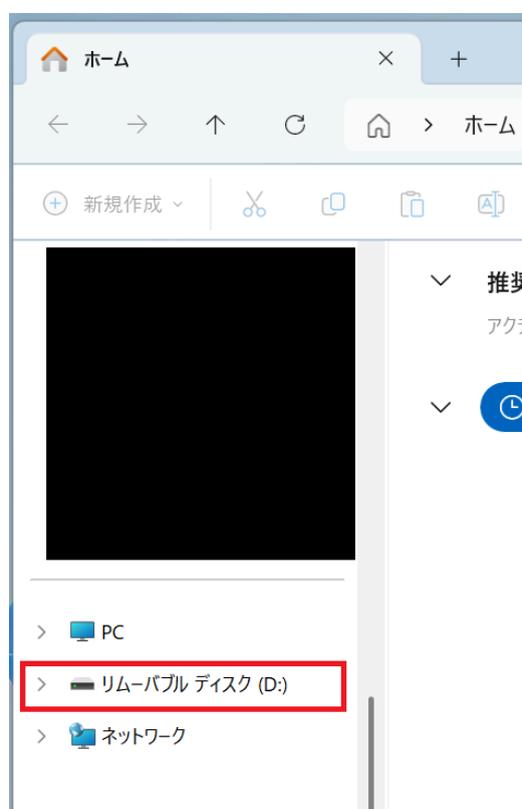
※フォーマットを行うと SD カード内のデータはすべて消去されます。必要なデータは必ず事前に PC にコピーしてください。



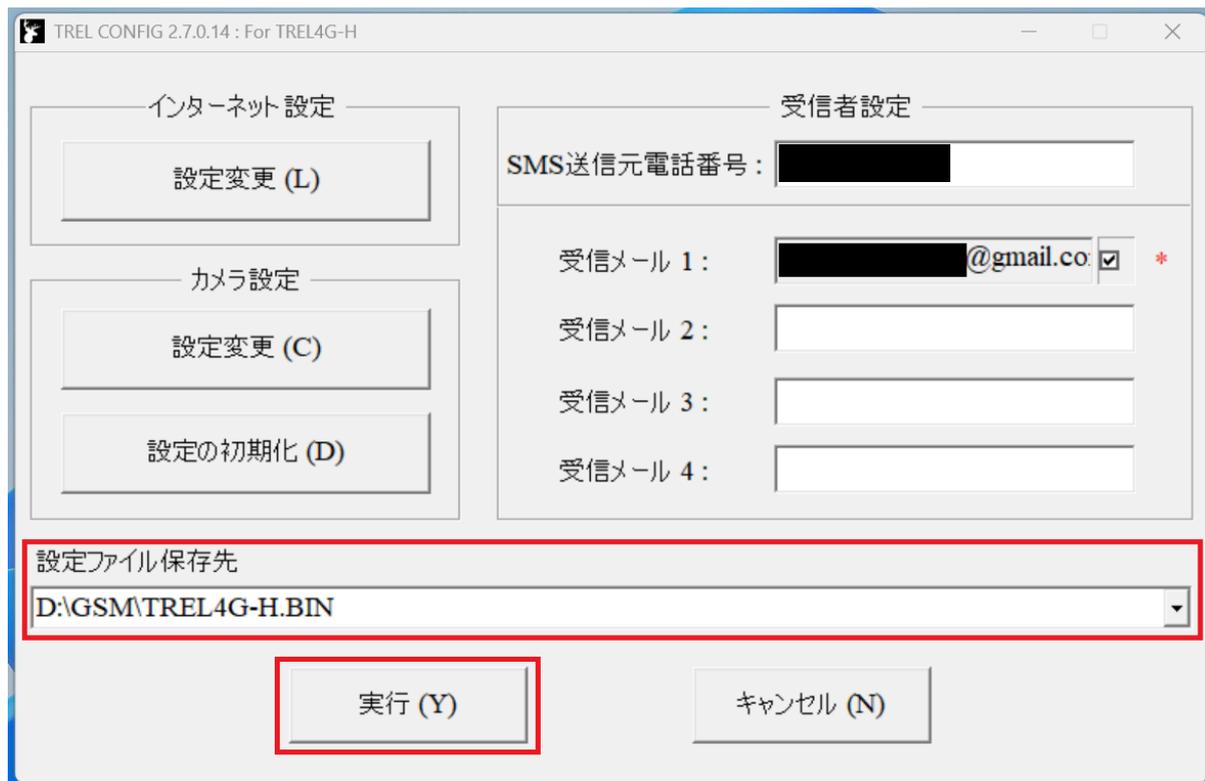
6. フォーマット完了後、改めて設定ファイルを保存してください。

### 【通常の設定ファイル保存手順】

1. PCにSDカードを差し込みます。
2. 黄色いフォルダのアイコン（エクスプローラー）を開き、SDカードがどのドライブ名（例：D: や E:）で表示されているか確認します。



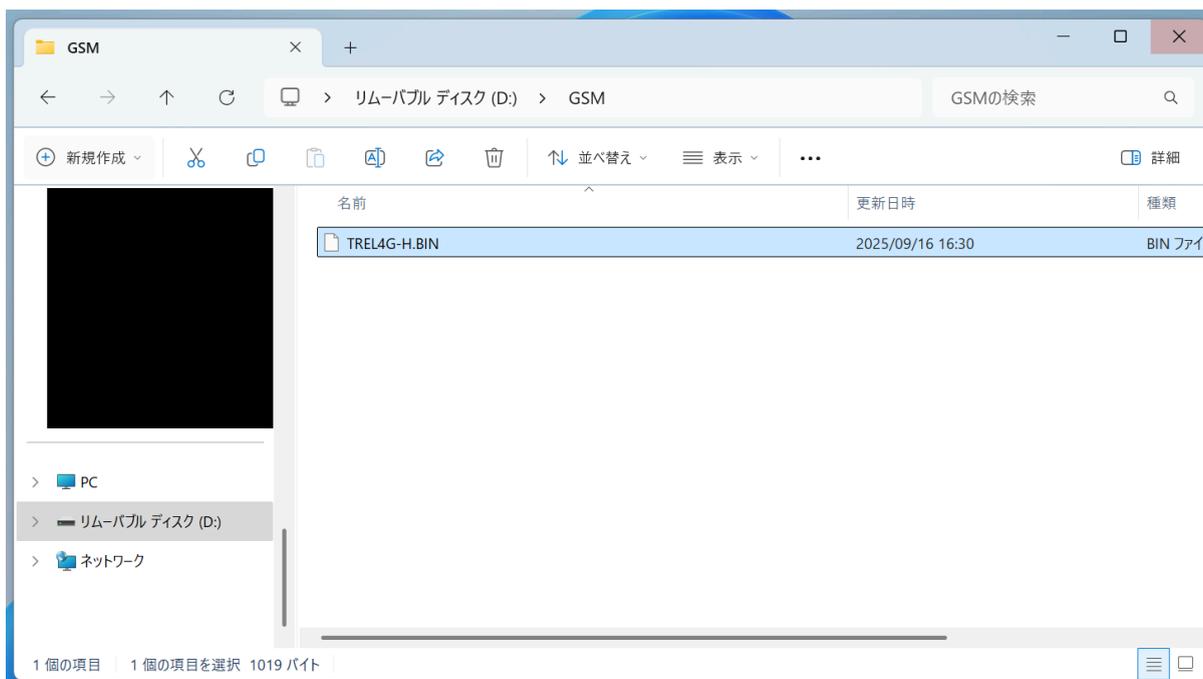
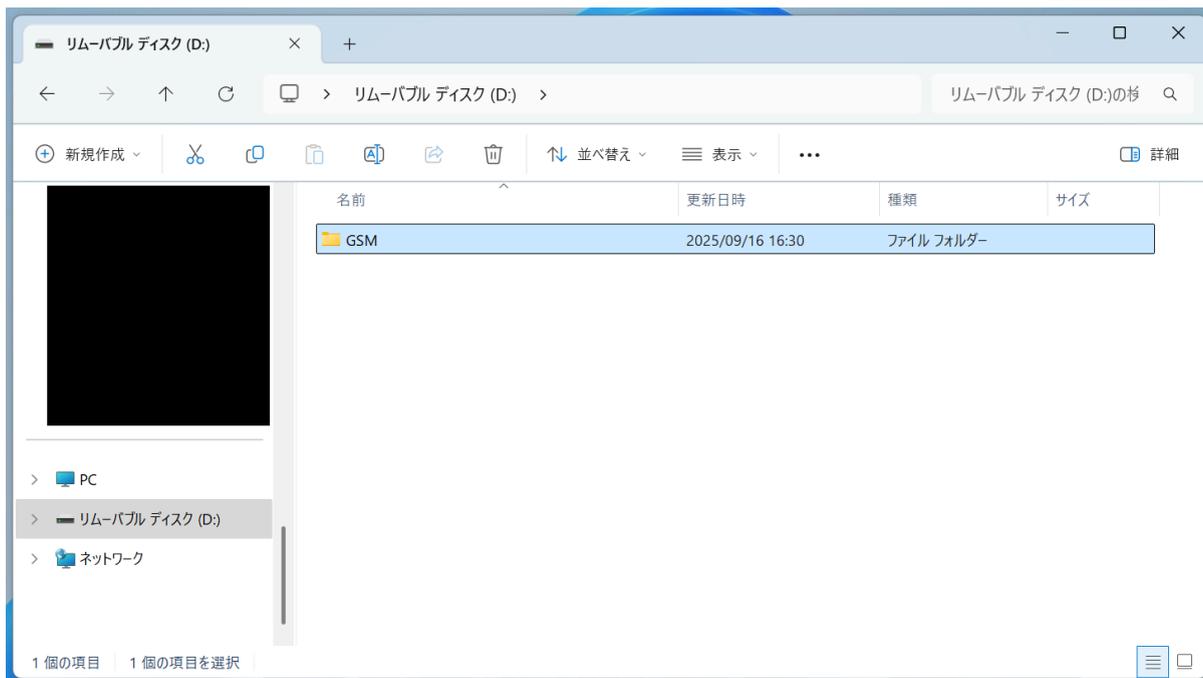
3. 「設定ファイル保存先」から、2で確認したSDカードのドライブ名を選択し「実行」します。



▲ 「設定ファイルの保存先」を選択しSDカードのフォルダを指定し「実行」

- SDカードの直下に「GSM」というフォルダが作成され、その中に拡張子「.BIN」の設定ファイル本体（図7）が保存されます。

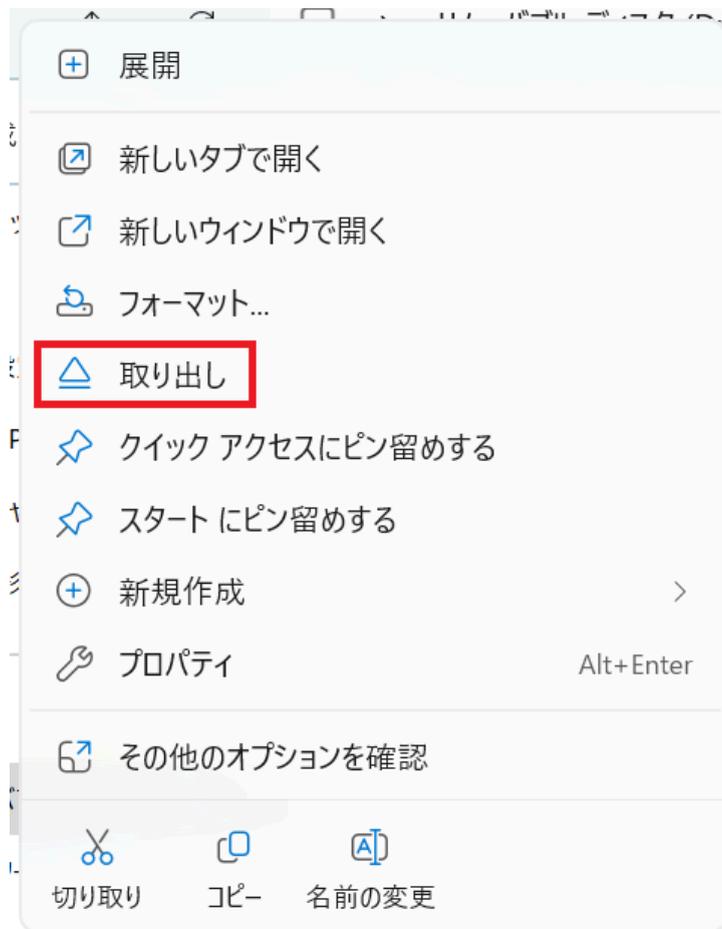
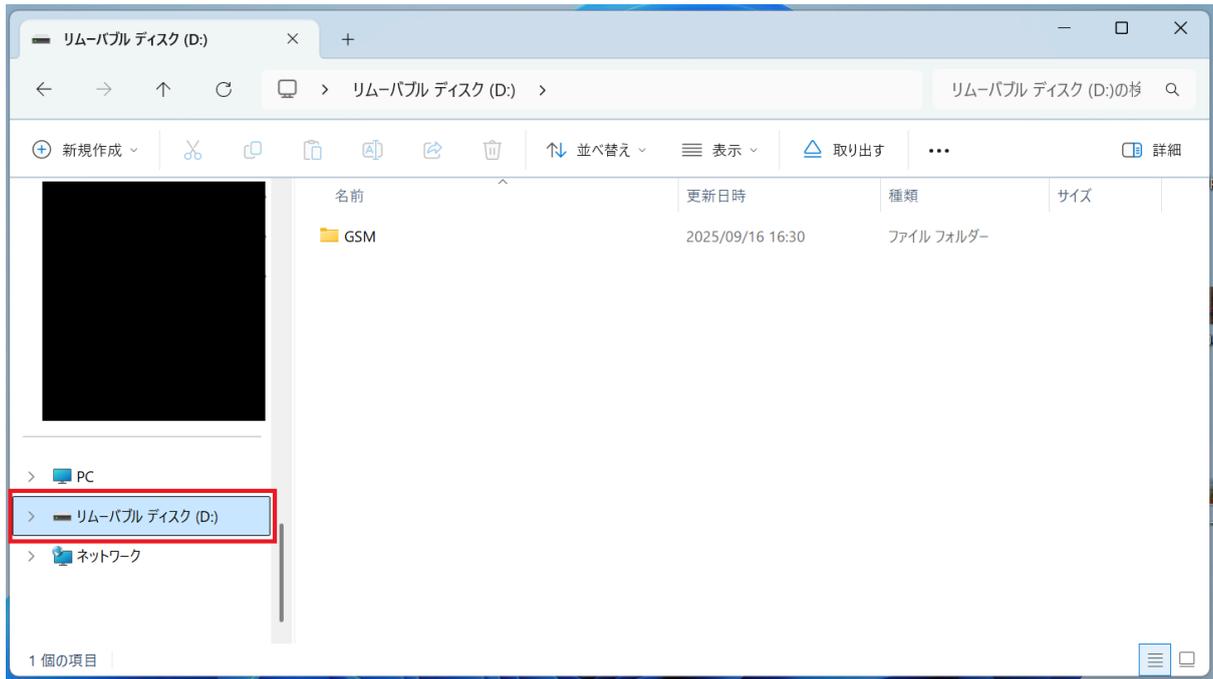
※設定ファイルを保存してもすぐにGSMフォルダが表示されない場合があります。その際は、エクスプローラーを更新（画面を開き直す）すると表示されます。



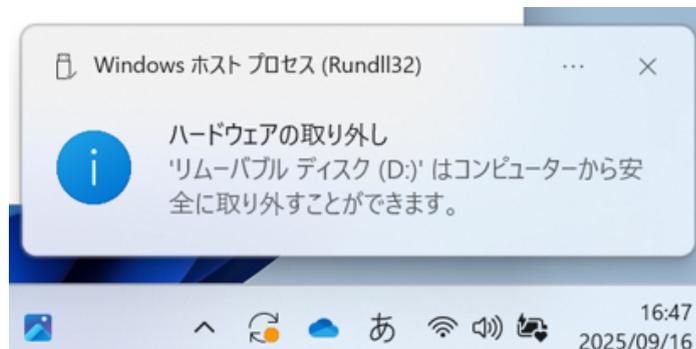
▲ 図7 SDカードに保存した「設定ファイル（拡張子.BIN）」

※カメラに読み込ませる際は、この GSM フォルダごと SD カードに残した状態で挿入してください。

5. エクスプローラーで SD カードのドライブを右クリックし、「取り出し」を選択します。



6. 「ハードウェアの取り外し」などのメッセージが表示（ポップアップ）されたら、PC から SD カードを抜き取ります。



7. PCから抜き取ったSDカードをTREL 4G-H に挿入しTREL 4G-H のスイッチを「SETUP」位置 にして電源を入れると、保存した設定ファイルが読み込まれ、設定が反映されます。 **(※詳細は次項にて解説)**
-

## STEP 3：インターネット接続

① SIMカードとSDカードの挿入：カメラを開いて、SIMカード（上）とSDカード（下）を挿入します（図8）。



▲ 図8 SIMカードとSDカードを差し込む

② 設定ファイルの読み込みとネットワーク接続：乾電池が入っている状態で電源スイッチを「SETUP」の位置にスライドすることで、（[👉2-2. 「TREL CONFIG」を使った設定ファイルの作成](#)）でSDカードに保存した「設定ファイル」が自動的にカメラに読み込まれます。また、それと同時に「ネットワーク検索中」という文字が画面に表示され、ネットワーク接続先を探している状態となります（図9）。



▲ 図9 ネットワーク接続先を探している状態

③ **接続の確立**：接続が確立されると通信業者が表示されます（図10）。



▲ 図10 ネットワークに接続された状態

## STEP 4：メール送信テスト

① **テスト撮影**：「SHOT」ボタンを押し、手動で静止画を撮影します（図11）。

※この時、（[👉2-2.「TREL CONFIG」を使った設定ファイルの作成](#)）で設定した「カメラ設定」の「撮影モード」で撮影されます。「静止画」ではなく「動画」モードに設定している場合は動画が撮影されます。



▲ 図11 「SHOT」ボタンでテスト撮影する

② **テスト送信**：「OK」ボタン（PLAY）を押すと、テスト撮影した画像の閲覧画面が表示されるので、テスト送信したい静止画または動画を選択、表示します。「MENU」ボタンを押し、「送信先：メール[4 G]」と表示されたら「OK」ボタンを押すことで、静止画や動画がメールで送信されます。（図12）。



▲ 図12 テスト送信

③ Gmailでの確認：Gmailに撮影したテスト画像が届いているかを確認します（図13）。



▲ 図13 Gmailの受信画面

## STEP 5：自動撮影の開始

テスト送信に成功したら、カメラの基本設定と通信設定が正しく完了し、運用の準備が整った状態です。この状態でカメラの電源スイッチを「ON」にスライドさせると、カメラ前面にあるLEDインジケータが約10秒点滅した後、自動撮影モード（※）に入ります。

※この動作は初期設定に基づきます。（👉[2-2. 「TREL CONFIG」を使った設定ファイルの作成](#)）で「カメラ設定」の「センサー感度」を「オフ」にしている場合や、「タイムラプス」を有効に設定している場合は、上記の限りではありません。設定内容に応じて撮影モードが変わります。

**ここまでの操作、お疲れさまでした。**

**以上で、TREL 4G-H の初期設定は完了です。**

この後の内容では、運用時に役立つ補足事項や、よくある質問（Q&A）を掲載しています。ぜひ最後までご一読いただき、今後の運用にお役立てください。

---

## 【応用】APN情報入力済み「設定ファイル」の活用

### 【応用】「動作確認済みのSIMカード」のAPN情報などが書き込まれた「設定ファイル」の利用について

TREL 4G-Hで、データ送信機能をご利用の際は、通信設定を行う必要があります。通信設定を行うためには、本マニュアルでご紹介した設定ツール「TREL CONFIG」で設定ファイルを作成し、カメラに読み込ませる必要があります。

もし、PC（Windows）をお持ちでないなど、何らかの事情で「TREL CONFIG」をご利用できない場合は、Gmailサーバーを使う方用に「動作確認済みのSIMカード」のAPN情報などが書き込まれた「設定ファイル」が用意されてますので、そちらをご利用いただくことも可能です。

#### 【このような方におすすめ】

- 「TREL CONFIG」をご利用できない方
- PC（Windows）をお持ちでない方
- APN情報が分からない方
- APN設定を簡略化して入力ミスを防ぎたい方

#### 【対象となる方】（※以下3つの項目を満たしている方が対象となります。）

- TREL 4G-Hで通信機能（画像や動画のメール送信、SMS機能）をご利用になる方
- 動作確認済みのSIMカードをご利用になる方
- メールサーバーに「Gmail」を設定される方

この「設定ファイル」を利用することで、入力を間違えやすいAPN設定をしなくて済みます。

※ただし、「インターネット設定」と「受信メール1」の設定が以下の初期設定になっているため、[（👉2-2. 「TREL CONFIG」を使った設定ファイルの作成）](#)で解説したように、ご自身のアカウント設定に変更する必要があります。

- **アカウント名**：GISUPPLY@GISUPPLY  
→ Googleアカウント（Gmailアドレス）に変更
- **パスワード**：GISUPPLY  
→ 生成したアプリパスワード（16文字）に変更
- **受信メール1**：GISUPPLY@GISUPPLY  
→ 受信したいメールアドレスに変更

この設定変更はカメラ本体から行う必要があります。カメラ本体を操作し、まずは上記、初期設定されている文字列を消去し、一文字ずつ入力していくため、相応の手間がかかります。そのため、TREL 4G-Hを複数台運用したい場合は、アカウント設定に「TREL CONFIG」を使用することをおすすめします。

「設定ファイル」のダウンロードや設定方法など詳細につきましては、「鳥獣被害対策ドットコム」の[TREL 4G-H 商品ページ](#)内、「TREL(トレル) 4G-H 設定ファイルのダウンロード」の項目をご参照ください。

---

## 実運用前のテスト期間について

通信機能の付いたトレイルカメラを利用する場合、SIMカードの契約やカメラ設置環境の電波状況の確認など、事前にチェックしなくてはならない事項が多くあります。そのため、トレイルカメラを購入してから実用するまでの調整期間として1ヶ月程度のテスト期間を設けることをお勧めいたします。

- SIMカードの契約手続き（プラン選択 / 開通設定）
- カメラの設定（SIM / メールサーバー / SMS）
- 設置現場の電波状況の確認
- テスト撮影（静止画・動画撮影 / センサー・タイムラプス撮影）
- データ送信テスト（静止画・動画送信 / センサー・タイムラプス送信）
- 遠隔操作テスト（静止画・動画撮影 / 設定変更）

など…

非通信のトレイルカメラに比べ、通信機能付きトレイルカメラは機能が複雑なため様々な要因が絡んだ不具合が発生することがあります。

例えば、撮影やデータ送信機能が正常に動作しない場合、以下のように一つずつチェックしていかなければなりませんので、原因の特定までに時間を要する場合があります。

- SIMカードの不具合なのか？
- データ容量の制限がかかっているのか？
- 電波状況の問題なのか？
- メールサーバーの設定がうまくできていないのか？
- カメラ本体の設定が間違っているのか？
- SDカードの不具合なのか？
- カメラの故障なのか？

など…

このような理由により、通信機能付きトレイルカメラを利用する場合は、本番環境で運用する前に、様々な設定パターンの組み合わせを試しながら問題なく運用できるようシミュレーションしておくことを推奨しています。

## よくある質問

### Q. Gmail以外のメールサーバーでも利用できますか？

- A. 本マニュアルではGmailサーバーのみを対象として解説しています。他のメールサーバーを利用する場合の設定方法は本マニュアルには含まれていませんので、メーカー提供の情報をご参照ください。

### Q. アプリパスワードとは何ですか？また、なぜ必要なのですか？

- A. アプリパスワードとは、Googleが発行する16桁の特別なパスワードで、Googleアカウントに「2段階認証プロセス」を設定したときに利用できる仕組みです。

Googleではセキュリティを守るため、普段Gmailにログインするときに入力するGoogleアカウントのログイン用パスワードを、外部の機器やアプリに直接入力することを禁止しています。そのため、TREL 4G-HのようにGmailサーバーを使って通信する機器は、代わりにアプリパスワードを入力しないと接続できません。

つまり、

- Googleアカウントのログイン用パスワード：あなた本人がGmailやGoogleサービスにログインするために使うもの
- アプリパスワード：TREL 4G-Hのような外部機器がGmailにアクセスするために使う専用の鍵

このように役割を分けることで、セキュリティを守りながら Gmail を利用できる仕組みになっています。そのため、TREL 4G-H を Gmail と連携させる際には必ずアプリパスワードが必要です。

## Q. アプリパスワードを忘れてしまったらどうすればいいですか？

- A. Google アカウントの「セキュリティ」>「アプリパスワード」から再発行してください。ただし、既に発行した16桁のパスワードを再表示することはできません。必要な場合は新しいアプリパスワードを作成し、カメラに再設定してください。

## Q. 通信トレイルカメラにおける「メールサーバー設定」とは何ですか？

- A. 通信型トレイルカメラは、撮影した画像や動画を 送信側のメールサーバー を経由して、あらかじめ登録した 受信側メールアドレス に送信します。このとき必要になるのが「メールサーバー設定」で、カメラが送信元として利用するメールアカウントの情報を登録する作業です。

### ■よく混同される「受信メールアドレス」との違い

- 送信側（メールサーバー設定）：カメラが画像を送信するときに利用するメールアカウント（=差出人）（TREL 4G-H では「インターネット設定」の項目で設定する）
- 受信側（受信メールアドレス）：送られてきた撮影画像を受け取るメールアドレス（TREL 4G-H では最大4件まで登録可能）

### ■設定の例

送信側を taro.yamada★gmail.com に設定した場合、受信側には以下のように最大4件まで登録できます。

- taro.yamada★gmail.com（送信元と同じでも可）
- team-security★company.co.jp
- field-monitor★city.pref.jp
- mysubmail★gmail.com

#### ■送信側に設定できるアカウントの例

- 個人利用：普段から使っている Gmail アカウント（例：  
taro.yamada★gmail.com）
- 企業利用（Google Workspace）：組織で発行された Google アカウント（例：  
：camera★company.co.jp）
- 専用アカウント：監視カメラ用に新規作成した Gmail アカウント（例：  
site01.security★gmail.com）

※ここで示しているメールアドレスはすべて一例です。★はすべて@となります。

#### Q. 専用アプリ「BGTools」はどのような環境で利用できますか？

- A. 専用アプリ「BGTools」は、iOS / Android の両OSに対応したスマートフォン用アプリです。遠隔操作や設定変更を行う場合に使用します。詳細は付属の「ユーザーマニュアル」をご確認ください。
-

## お問い合わせ

その他、当マニュアルについてご質問、ご不明点などがございましたら、以下リンク、またはQRコードよりお気軽にお問い合わせください。

<https://www.choujuhigai.com/c/contact>



## メモ欄

以下のスペースを活用し、必要事項や気づいた点、記録しておきたい内容を自由に記入してください。

MEMO